

住まいの害虫⑭（その他の動物）

1 ハクビシン、アライグマ、ヌートリア

近年、餌などを求めて人家近くまで出没し、農作物等への被害が発生しています。

（1）生態

①ハクビシン

【 特徴 】

- ・額から鼻にかけての白斑が特徴的です。
- ・夜行性であり、樹上生活の得意な中型の哺乳類です。
- ・生息域は、市街地から山間地まで広がっています。
- ・食性は、雑食性で、植物質は果実がほとんどで、それ以外の植物質はあまり好みません。

【 写真 】



②アライグマ

【 特徴 】

- ・夜行性で、森林や湿地帯から市街地まで多様な環境で生息します。一般的には、水域に近い場所を好みます。
- ・近年、住宅地や林縁部に多く生息し、住宅の屋根裏、納屋等を営巣場所として利用している例が多く見られます。
- ・食性は、雑食性で、昆虫類、小動物全般、果実、野菜、穀類まで幅広いと言われています。
- ・幼獣時は、人間になついてかわいいですが、成獣になると気が荒く凶暴になります。

【 写真 】



③ヌートリア

【 特徴 】

- ・大きなドブネズミのような体つきで、眼や耳は小さく、後足は、前足より長く水かきがあり、ともに鋭い爪があります。
- ・本来は夜行性で、昼間でも餌を食べているところがよく観察されています。
- ・池沼、河川の中・下流域の流れが穏やかな場所の周辺に巣穴を作って繁殖します。
- ・食性は、主に水辺の植物の葉、茎等を食べています。

【 写真 】



（２）防除等

- 駆除は原則法律で禁止されています。
- 防除は、以下のとおりです。
 - ア 誘引条件の排除（生ごみや未収穫物等の放置をしない）
 - イ 柵の設置
 - ヌートリア：高さ１ｍ程度のトタンやネットで耕作地を囲う。
 - アライグマ・ハクビシン：被害木の根際に有刺鉄線やネズミ返し、トタンを巻きつける。
 - ウ 営巣場所・隠れ場所の排除（廃屋、空き家をなくす）

２ コウモリ

屋根裏等に巣を作り、それらの糞尿等による被害が発生しています。

（１）生態

- コウモリは、周辺の害虫を捕食するなど、有益な生物です。
- コウモリは、日没１５分ほど前から餌を取りに飛び立つため、その時間帯に家屋周辺を見渡すことで、生息の有無を確認することができます。

（２）防除等

- 駆除は原則法律で禁止されています。
- 防除は、餌を取りに行く２～３時間の間に、巣の出入口を塞ぐことが大切です。

